

学校財務ウィーク推進事業・学校事務実践事例レポート募集要項

1.趣旨

事務職員の学校運営や教育環境整備へのかかわりを深めるため、全国各地における学校事務の工夫、そこから学校マネジメントへと発展させた実践事例を募る。全事研Web等で公開することで、学校運営における学校事務の重要性について広く啓発する。

2.主催

全国公立小中学校事務職員研究会

3.応募資格等

全国公立小中学校事務職員研究会 会員
《レポート区分》

①学校財務実践レポート	「学校財務ウィーク」での実践事例 等
②日頃実践レポート	日頃から取り組んでいる実践事例 等
③運営改善実践レポート	財務マネジメントを生かした運営改善の実践事例 等
④初実践レポート	経験の浅い事務職員の実践や、「初めて挑戦した」等の実践事例 等
⑤学校マネジメント実践レポート	様々な学校マネジメントの実践事例、課題解決に向けた取組や実践 等

《実践単位》 支部・市区町村・グループ・個人・校内組織

(グループとは共同実施や隣接校 等、校内組織とは校務分掌 等を指します。)

4.応募方法

(1)提出書類等

- 1)応募シート 応募者は、応募シートに必要事項を記入してください。
- 2)実践レポート レポートは、A4(なるべくワード)の所定の様式で作成してください。

46 行	23文字	
	タイトル ・支部名

- ①ページ数
2ページ以内
※ 別添資料がある場合、資料はレポートとは別に2ページ以内
- ②1ページの文字数
23文字×46行×2段組
※ タイトル・支部名学校種別(23文字×6行)・
図表・写真等も含まれます。
レポートは、7行目から始めてください。
※ヘッダーフッターには、文字を入れしないでください。
- ③文字フォント・サイズ・文体
MS 明朝、10.5pt、です、ます調
- ④レポート内容
実践内容・成果と課題・今後に向けて等
小見出しを付けてください。
- ⑤図表・写真
容量サイズが大きい場合、圧縮をするなどの工夫をしてください。

3)資料等 活動の様子が分かる写真等があれば添付してください。

(2)提出期限 支部が定める日。

(3)提出先 支部が指定する提出先。

※会報等掲載時には、全事研表記等に一部修正させていただきます。

例：取り組み→取組、関わる→かかわる など(詳しくは、別添資料「全事研使用表記について」を御参照ください)

5.その他

・応募いただいたレポートは、全事研会報の特集号として応募一覧とともに掲載し、その後各号に連載いたします。全事研Web会員ルームでは、すべての応募事例を紹介いたします。また、全事研セミナー等の全事研コーナーで、一部を掲載いたします。さらに、応募シートの※印については活動のPRのために全事研Webで一般公開しますので御了承ください。

・レポートに掲載する図や写真等の資料は、公開しても支障のないものにしてください。
個人が特定できる写真等は避けてください。掲載する場合は、必ず本人の了解を得てください。

※ これまでの学校財務ウィーク実践事例は、本会Webの会員ルームで御覧になれます。
(ログインID・パスワードは、支部で御確認ください。)
全事研会報にも一部掲載しています。参考にしてください。

タイトル

〇〇支部：〇〇〇立〇〇〇学校
職名 〇〇 〇〇

【実践前の状況・背景】

実践した動機や、実践前の状況・背景など、実践を始めるに至ったきっかけについて具体的に記載してください。

《例》

実践前がどのような状況であったか。当時問題とされていたことは何か。どのような人々から改善して欲しいという声があがったか。改善したいと思ったものは何か。

など

【実践内容】

実践した時期及び内容について具体的に記載してください。

《例》

- ・財務ウィークに関連した活動内容。
- ・初めて取り組んだ財務の実践。
物品要望取りまとめ時のひと工夫、予算執行計画作成でのひと工夫 など
(はじめの一步：経験年数が少なくても取り組みそうな内容、取り組んだ内容を是非、紹介してください。)
- ・共同実施グループ内の学校徴収金の取扱について調査したところ、説明責任の点で不十分であることが分かり、徴収金マニュアルを作成した。
- ・支部の年間計画に位置付けをした、教育委員会に対し働きかけを行った、校長会等関係団体に働きかけを行った、支部内で学校財務の研修会を行った、支部内にモデル校を設定した。 など

実践状況の写真があると、内容がとても分かりやすく伝わります。

※個人特定できる写真は避けてください。掲載する場合は、必ず本人の了解を得てください。

【成果と課題】

実践の成果と課題について、具体的に記載してください。

《例》

どのような効果があったか。何が達成できて、何が達成できなかったか。達成度はどれぐらいで、達成できた理由は何か。また、達成できなかった理由は何か。相手方の反応はどうであったか。

など

【今後に向けて】

実践の成果と課題を踏まえて、今後の取組の方向性や展望について記載してください。

《例》

連携をはかる相手や取組をすすめる上で必要な情報や手立ては何か。 など

① ページ数

2 ページ以内

※別添資料がある場合、資料はレポートとは別に2ページ以内

② 1 ページの文字数

23 文字×46 行×2 段組

③ 文字フォント・サイズ・文体

MS 明朝、10.5pt、です・ます調